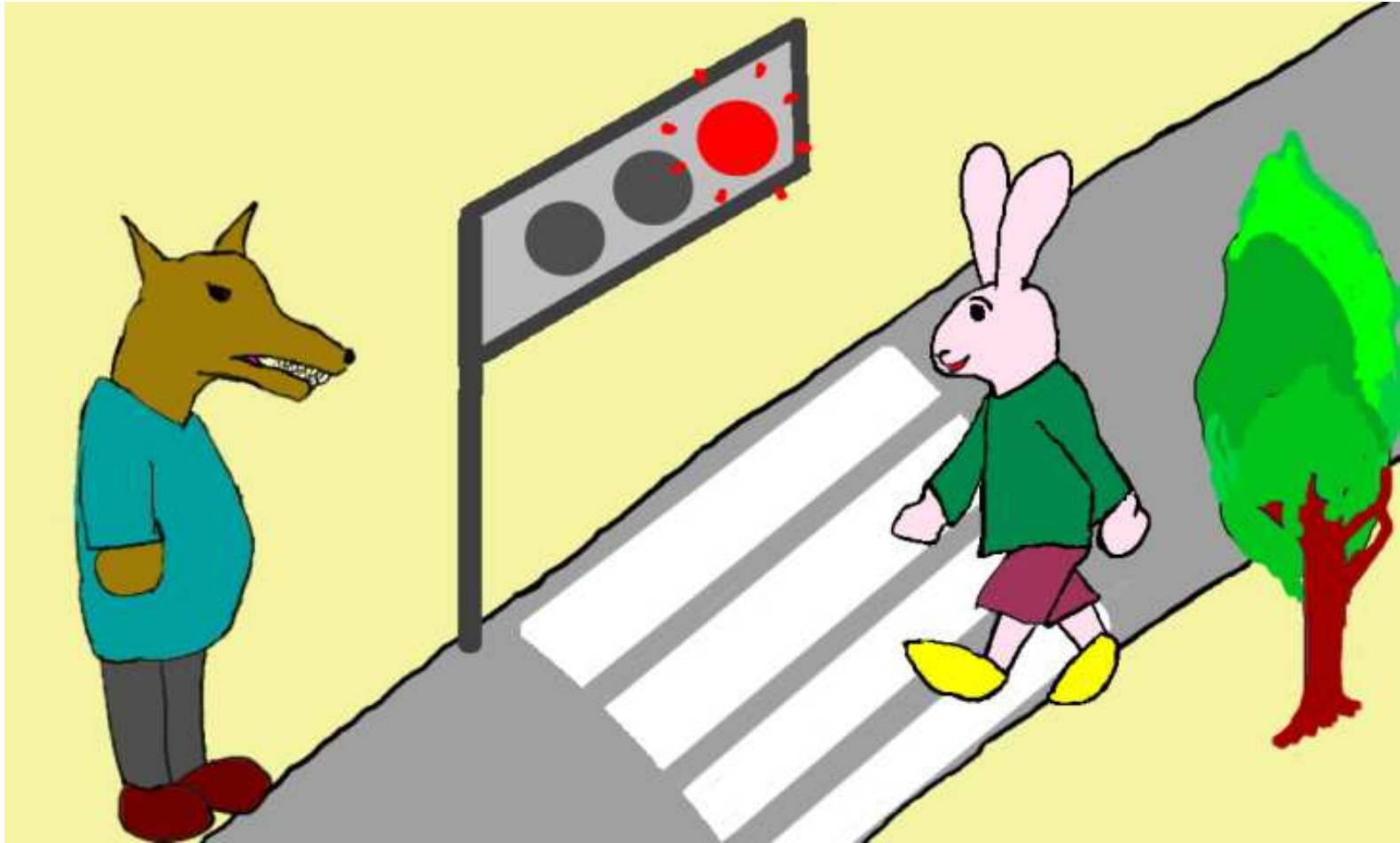


悪 と 罰



東郷 潤

あれ、ウサギさん、信号が赤なのに渡っているよ。



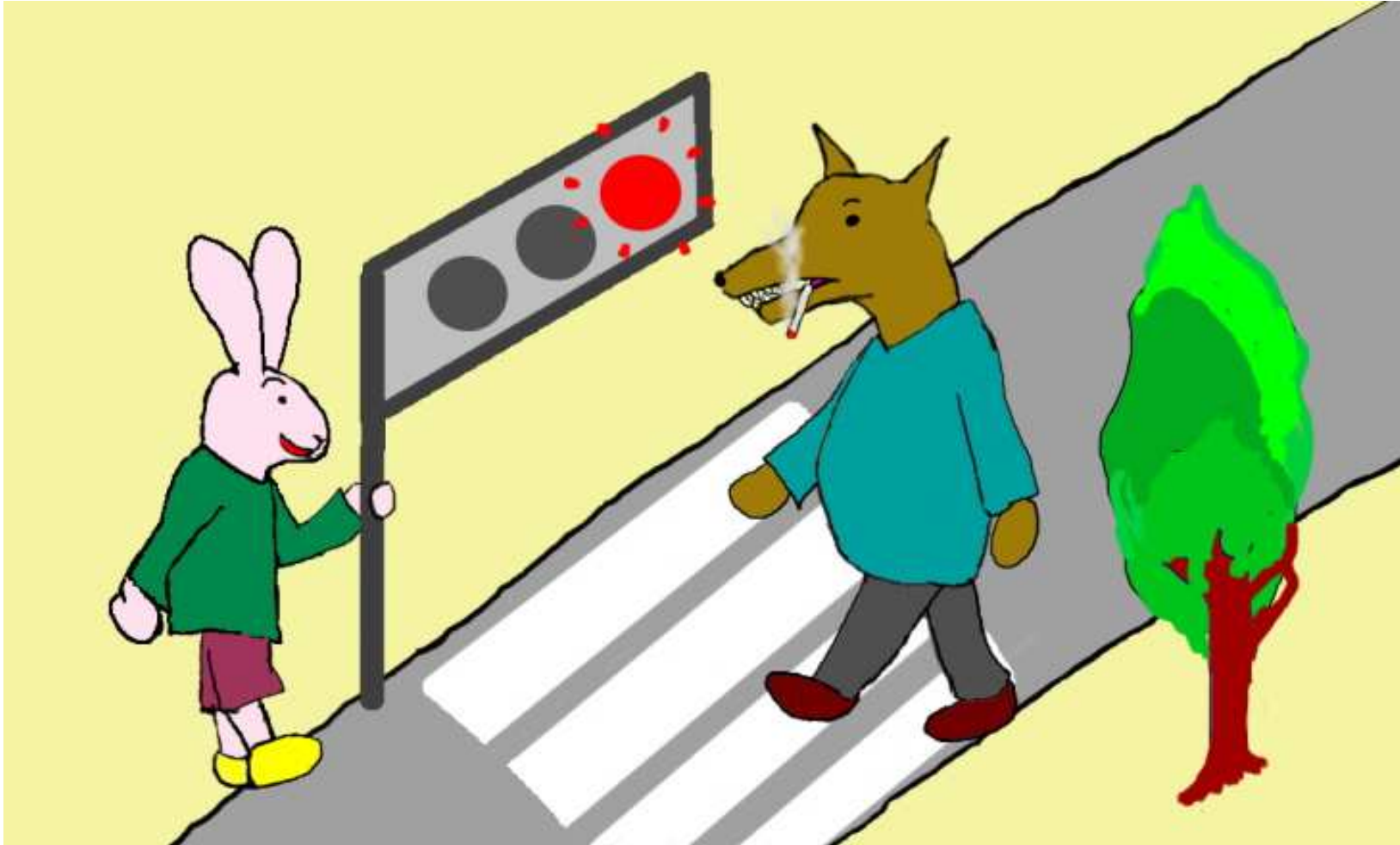
悪いことをしたら、罰さなければいけません。



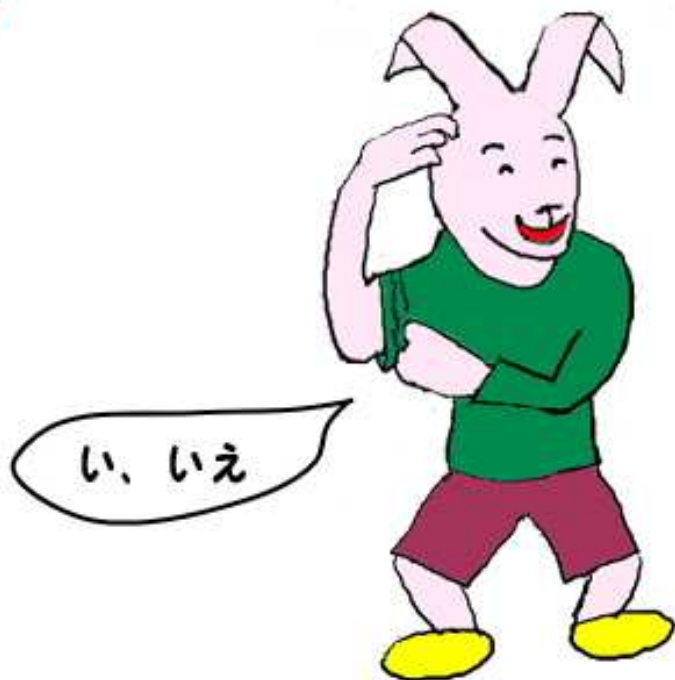
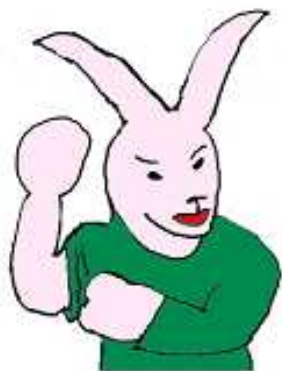
信号無視をするな！



あれ、狼さんも。信号が赤ですよ。



悪いことをしたら、罰さなければいけません。



あれ？ タバコのポイ捨てですか？



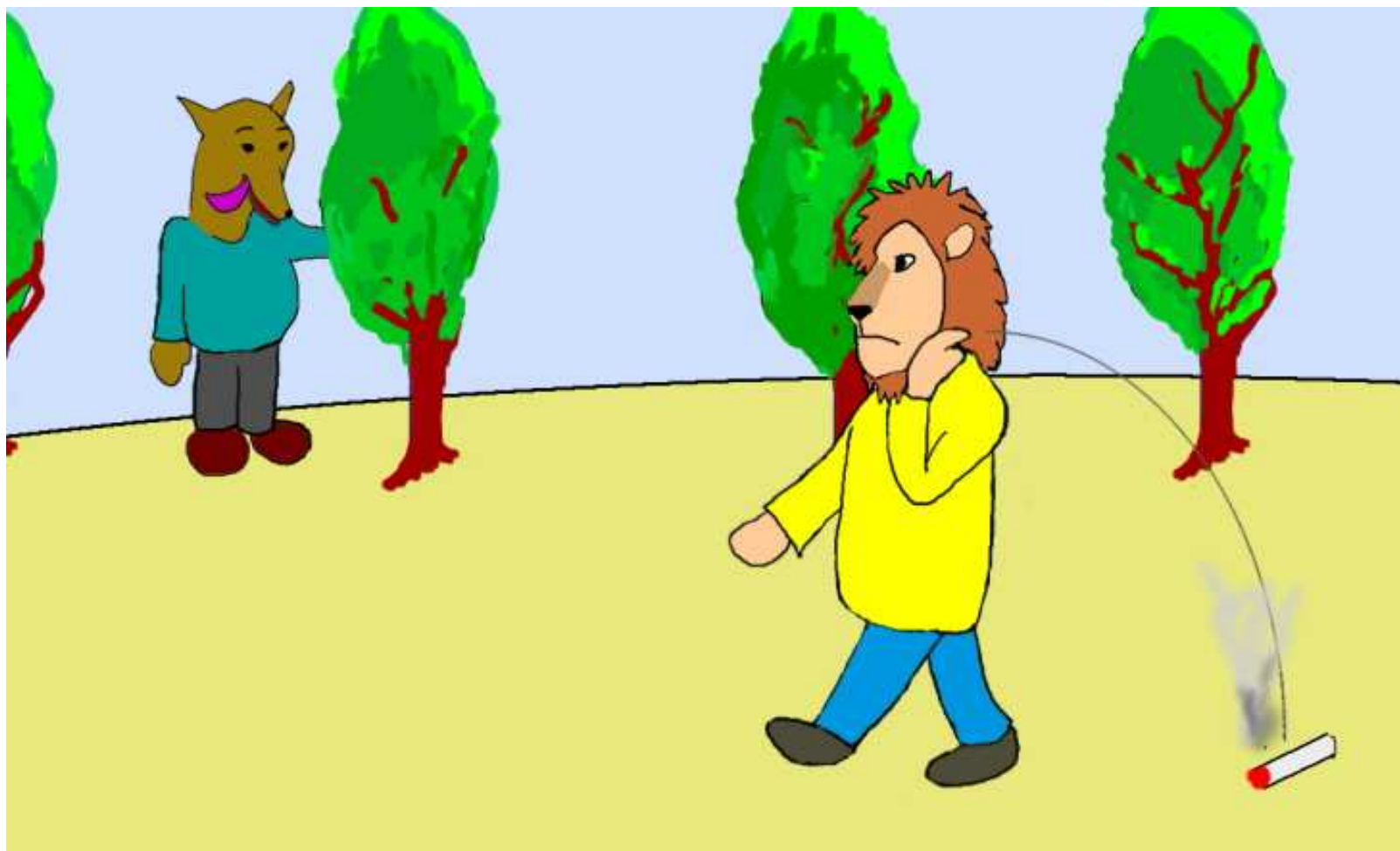
悪いことをしたら、罰さなければいけません。



タバコを道に
捨てるな！



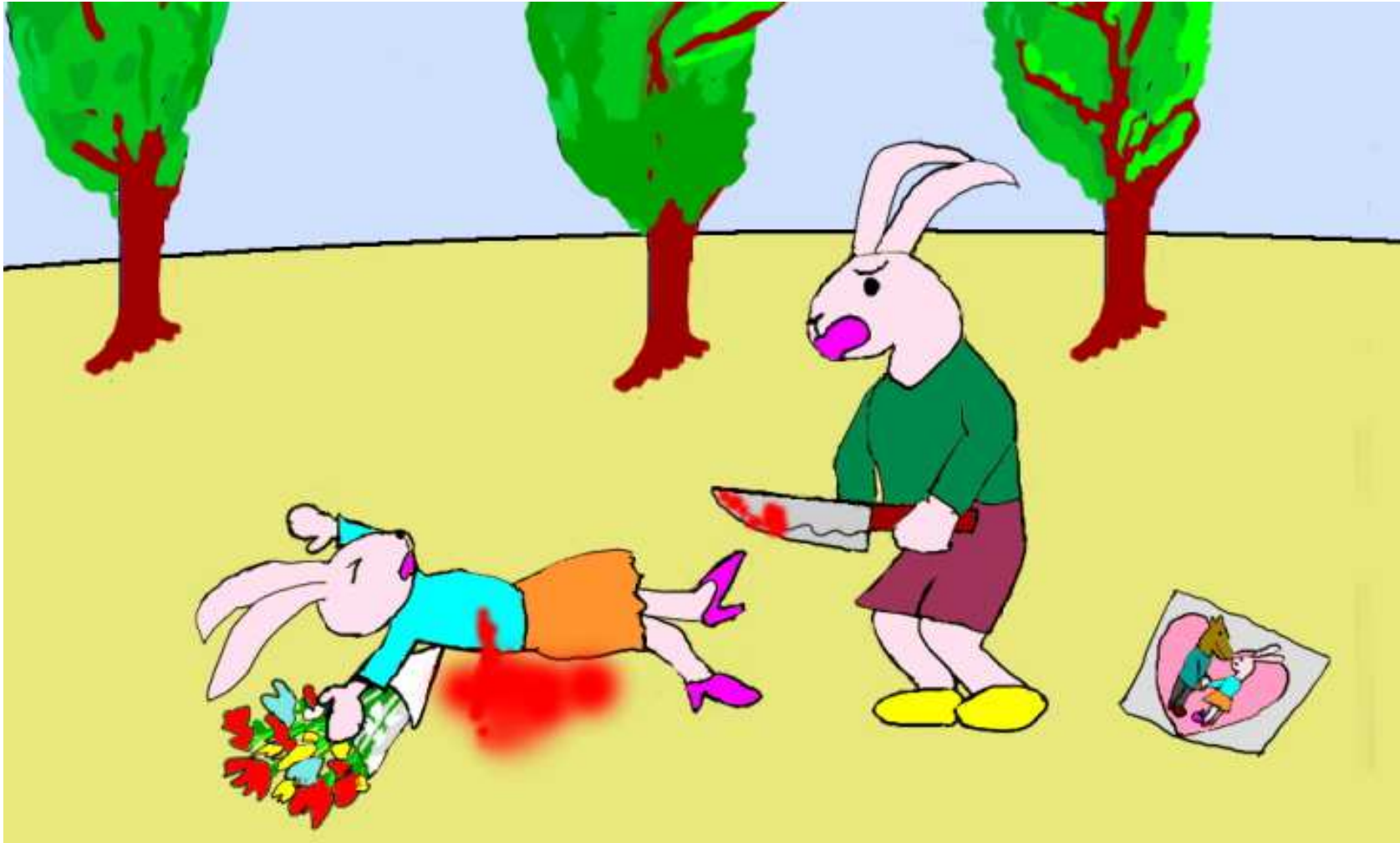
今度も、タバコのポイ捨てですね。



悪いことをしたら、罰さなければいけません。



あれ、うさぎさん。人を殺してしまったの？



悪いことをしたら、罰さなければいけません。



人殺しめ!



あれ？ これも人殺し？



悪いことをしたら、罰さなければいけません。



罰って、人が人を攻撃すること。それも、自分より弱い人だけを。



「罰は悪」とは決して言わないけれど、

**僕は、あんまり罰に
頼りたくないなあ！**

あとがき 一絵本「悪と罰」

善悪という言葉／考え方をめぐっては、本当に様々な錯覚が存在しています。

そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えられます。(⇒弊著「善悪中毒」リベルタ出版をご参照頂ければと存じます。)

本絵本はそうした悲劇を地球上から無くしていくという目的を意識しながら、善悪と深く関わりのある、罰を巡る心理をテーマとして、執筆したものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2008